

平成24年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行
の状況についての点検及び評価に関する報告書

徳 島 市 教 育 委 員 会

平成24年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定により，平成24年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書を次のとおり提出する。

平成25年9月5日提出

徳島市教育委員会

第1章 はじめに

1 教育委員会の所掌事務に係る点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）により、教育委員会は、毎年、教育長等に委任された事務を含む教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、外部の学識経験者の知見も活用しつつ、点検及び評価を行うこととし、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

徳島市教育委員会では、本市行政評価システムの手法を活用しながら、その所管する事務事業の有効性や効率性について見直しを行い、報告書を作成するとともに、教育行政のより効果的で効率的な運営ができるよう取り組んでまいりましたが、平成22年度に「徳島市教育振興基本計画」を策定したことから、本報告書における点検・評価にあたっては、「徳島市教育振興基本計画」における理念、目標及び基本方針を反映したものとなるよう作成しています。

点検・評価の具体的な項目や指標、報告書の様式等については、法令に特段の定めがないため本市行政評価システムの評価様式に準じたものとしておりますが、市民目線に立って、より見やすく、より分かりやすいものとなるように、今後も引き続き改善に努めてまいります。

2 本報告書の構成について

徳島市教育委員会の活動を、(ア)教育委員会の活動状況、(イ)教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）、(ウ)教育委員会が管理・執行を教育長に委任している事務（事務局が実施する事務事業）の3項目に分類し、点検・評価した結果について次のとおりまとめ、報告することとしています。

教育委員会活動報告……(ア)及び(イ)

教育委員会の就任状況や教育委員会の会議の開催状況等について記載しています。

教育委員会の所掌に係る事務事業の概要……(ウ)

教育委員会の所掌に係る事務事業について、平成22年度の概要をまとめ、記載しています。

事務事業に係る点検・評価に関する結果一覧……(ウ)

教育委員会の所掌に係る事務事業の点検・評価結果を項目ごとの一覧できるように、本市行政評価システムの様式を参考に表形式で記載しています。

なお、今回の点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用につきましては、徳島文理大学短期大学部教授の阿部頼孝氏、鳴門教育大学教授の阪根健二氏にそれぞれ所見をいただきました。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 [抜粋]

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(平成20年4月1日施行)

第2章 平成24年度教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

委員の就任状況(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

氏名	平成25年3月31日現在の役職	異動状況
西岡 幹朗	委員長	
濱野 正裕	委員長職務代理者	
中村 久子	教育委員	
木下 成三	教育委員	
石井 博	教育長	

2 教育委員会の会議等開催状況

毎月1回定例会を開催した。(臨時会は必要に応じて開催)

(1) 平成24年度の会議開催状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会													-	
計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2) 平成24年度の議案等の付議状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
議案		2	2	3	5	4	2		6	1	2	5	4	36
協議報告事項			3	1		-		1		1	1		-	7
計		2	5	4	5	4	2	1	6	2	3	5	4	43

(3) 定例会での主な審議内容

議会の議決を経るべき議案(9件)

徳島市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償条例の改正、平成25年度の教育委員会の所管に係る予算、平成24年度の教育委員会の所管に係る補正予算、工事請負契約の締結、工事請負契約の変更等

教育委員会の定める規則の制定に関する議案(2件)

徳島市教育委員会職員安全衛生規則の改正、徳島市立図書館条例施行規則の改正

社会教育委員等の附属機関の委員の任命に関する議案(7件)

社会教育委員、文化財保護審議会委員、図書館協議会委員、徳島城博物館協議会委員、考古資料館協議会委員、スポーツ振興審議会委員等の任命

事務局職員及び教育機関の職員の人事に関する議案(8件)

その他の議案(11件)

3 その他の活動

(1) 委員研修会等への参加

県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会

日 時 平成24年4月5日(木)

場 所 総合教育センター

参加者 教育委員3名・教育長

内 容 ・平成24年度教育重点施策説明
・各課等施策説明 等

平成24年度全国市町村教育委員会連合会定期総会

日 時 平成24年5月25日(金)

場 所 東京都

参加者 教育委員長

内 容 ・文部科学省 講演
「初等・中等教育の課題と動向について」
・文部科学省 重点事項説明
「教育委員会の現状と課題」

(2) 教育功労者表彰の実施

教育功労者表彰式

日 時 平成24年11月1日(木)

場 所 徳島市役所 13階 大会議室

参加者 教育委員4名・教育長

内 容 徳島市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献したものを表彰
・被表彰者 62名(団体2を含む。)

教育功労者表彰式

日 時 平成25年2月20日(水)

場 所 徳島市役所 11階 1101会議室

参加者 教育委員長・教育長

内 容 徳島市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献したものを表彰
・被表彰者 3団体

(3)学校視察の実施

月 日	曜	視 察 先	内 容
5月14日	月	八万中学校	学校経営方針、学力向上、励まし支え合える集団づくり、心身の鍛練の基本姿勢についての報告
5月14日	月	津田中学校	学校経営の概要、生徒が主体的に活動できている状況、学習・行事を通しての成長についての報告
5月15日	火	飯谷小学校	学校経営方針、人権教育の推進、学校の特色を生かした経営についての報告
5月16日	水	徳島中学校	教育目標(挨拶・チャレンジ・感謝の心)、地域との連携についての報告
5月18日	金	方上小学校	質の高い教育、地域に信頼される学校、研修の充実についての報告
5月18日	金	入田中学校	学力・体力向上の推進、開かれた学校づくり、校務処理の合理化についての報告
5月30日	水	新町小学校	教育目標、めざす学校の姿、めざす教職員の姿についての報告
5月30日	水	富田小学校	教育目標、経営方針、児童愛に徹した教育についての報告
5月31日	木	加茂名中学校	教育経営方針、教育目標、人権教育、特別支援、生徒指導、進学指導、教職員研修についての報告
6月 1日	金	南井上小学校	学校経営、教育目標、一人ひとりを大切にしている教育についての報告
6月 1日	金	佐古小学校	学校経営、研究授業、子どもたちの学習に取り組む姿勢についての報告
6月 4日	月	加茂名小学校	教育目標、学校生活の充実と向上、挨拶・マナーについての報告
6月 4日	月	昭和小学校	特別支援教育の充実、学力の向上、体力の向上、人権教育の充実についての報告
6月 6日	水	国府小学校	学校経営方針、教育目標、考えさせる授業についての報告
6月 6日	水	不動小学校	学校経営、教育目標、経営方針についての報告
6月12日	火	上八万小学校	学校教育目標、めざす学校像(笑顔いっぱいの学校)についての報告
6月12日	火	入田小学校	教育目標(明るく元気な子・進んで学ぶ子・思いやりのある子)、努力目標、実践事項等についての報告
6月14日	木	加茂名南小学校	今年度の重点目標(確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成、信頼される学校づくり)についての報告
6月15日	金	宮井小学校	地域との連携の重視、体力の増進についての報告
6月18日	月	内町小学校	地域との連携の重視、行き届いた教育についての報告
6月19日	火	上八万中学校	重点目標、生きる力を育む教育、人権教育の推進、生徒指導の充実・強化、特別支援教育の充実についての報告
6月20日	水	富田中学校	学校経営方針、教育目標についての報告
6月21日	木	八万小学校	めざす学校像(活力あふれる学校・信頼される学校・特色ある学校)についての報告

月日	曜	視察先	内 容
6月22日	金	川内南小学校	学校経営、防災、小学校の研究会についての報告
6月25日	月	北井上小学校	グランドデザイン、学校教育目標、経営方針、めざす学校像、学力向上についての報告
6月25日	月	北井上中学校	学校教育目標、経営方針、学習環境についての報告
6月26日	火	助任小学校	教育目標、重点目標、現状と課題、学校経営についての報告
6月28日	木	城西中学校	学校経営方針、重点目標、特別支援教育の充実、教職員の資質向上、教職員組織の活性化、開かれた学校づくりについての報告
6月29日	金	大松小学校	重点目標、努力事項、活気ある学校、特別支援教育の充実、学力・運動能力の向上、保護者や地域との連携についての報告
9月12日	水	内町小学校	教室訪問、校長面接、地域と学校の様子、人事についての報告
9月18日	火	不動中学校	教室訪問、校長面接、個人面接、学校の現状と課題についての報告
9月20日	木	城西中学校	校長面談、二学期の生徒の様子、特別支援教育、教職員(校内研修・教師塾・開かれた学校・授業改善)についての報告
9月24日	月	富田小学校	教室訪問、校長面接、学校経営の概要、地域との連携、課題についての報告
9月25日	火	昭和小学校	教室訪問、校長面接、二学期はじめの学校の様子、課題についての報告
9月25日	火	富田中学校	教室訪問、校長面接、二学期はじめの生徒の様子についての報告
9月26日	水	加茂名小学校	教室訪問、個人面接、校長面接、学校アンケート、二学期の学校の様子についての報告
9月26日	水	一宮小学校	教室訪問、校長面接、個人面接、二学期の現状、課題についての報告
9月27日	木	城東中学校	授業参観、学校経営、校区、教職員の勤務についての報告
10月11日	木	八万中学校	教室訪問、学校や生徒の様子についての報告
10月15日	月	方上小学校	教室訪問、重点目標、課題についての報告
10月15日	月	南部中学校	教室訪問、授業の様子、地域の特色、学校経営についての報告
10月16日	火	渋野小学校	教室訪問、学校の様子、課題、職員についての報告
10月16日	火	八万南小学校	教室訪問、学校の様子、来年度に向けての経営方針、課題についての報告
10月22日	月	南井上小学校	教室訪問、学校経営方針、職員、健康・安全、人権教育、基礎学力についての報告
10月22日	月	徳島中学校	教室訪問、学校の実態、学校目標、教育活動上の課題と対策についての報告
10月23日	火	城東小学校	学校の実態、研究大会、教育活動上の課題についての報告

月 日	曜	視 察 先	内 容
10月23日	火	佐古小学校	教室訪問、学校の実態、来年度に向けての報告
10月25日	木	津田中学校	教室訪問、二学期の学校の様子、教職員の努力についての報告
10月29日	月	千松小学校	教室訪問、二学期の学校の様子、過去から現在までの学校経営についての報告
10月31日	水	川内中学校	教室訪問、二学期の学校の様子、来年度に向けての報告
11月12日	月	応神中学校	授業参観、教育目標、保護者・地域との連携、生徒の実態、特徴や課題についての報告
11月14日	水	北井上中学校	教室訪問、二学期の現状、生徒、保護者の協力、教職員についての報告
11月15日	木	八万小学校	教室訪問、二学期の様子、児童の現状、教職員、保護者、地域社会についての報告
11月19日	月	上八万小学校	めざす学校像、重点目標、組織についての報告
11月27日	火	飯谷小学校	授業参観、学級編成と学級担任、課題についての報告
11月28日	水	入田小学校	授業参観、二学期の現状、学校経営の概要、行事についての報告
11月29日	木	新町小学校	学校の現状、次年度における組織についての報告

第3章 教育委員会の所掌に係る事務事業の概要

1 生涯学習の推進

平成18年の教育基本法改正では、科学技術や社会構造の変化、高齢化や自由時間の増大に伴い「生涯学習の理念」が新たに規定され、生涯学習推進の中核である社会教育において、個人的人間的価値に加え、社会的価値を追及する視点が重視すべきことが指摘されている。

これを受けて、地域の課題解決を目的にした事業として、「放課後子ども教室推進事業」、「地域学遊塾運動の推進」、「地域住民交流促進事業の実施」などの諸事業を展開し、地域における教育力の向上に努めてきた。

また、徳島東部地域12市町村で共同活用事業として実施している「市民教授」制度では、名簿を更新し、また、関係市町村と利用者の利便性向上等の改善策について検討した。

さらに、図書館においては、平成24年4月1日に駅前アミコビルに移転し利便性を向上させるとともに、面積を旧図書館の3倍とするなど施設を充実させたことにより、利用しやすい図書館づくりに取り組んだ。図書館サービスも、市民にとって身近で役に立つ図書館を目指して、新しい図書館にふさわしい運営方針「子どもの成長支援・地域の成長支援・市民の学習支援」に沿った多くの新たなサービスを展開することにより、市民生活への浸透を図り、初年度は58万人以上の来館者があった。

考古資料館においても、引き続き指定管理者と連携して考古資料館事業に取り組み、利用者への利便性とサービス向上を図った。

2 学校教育の充実

幼稚園教育の充実については、子育て支援の一環として未就園児への園の開放事業や、就園を奨励するため一定の条件に該当する保護者の保育料負担の軽減を目的に、私立幼稚園に対しては補助金を交付し、徳島市立幼稚園に通園する保護者に対しては保育料の減免を行った。また、平成19年度から第3子以降の園児の保護者に対しても保育料の負担の軽減を図った。

高等学校教育の充実については、PFI方式による市立高校の校舎改築を推進し、維持管理を行っている。

また、ソフト面での魅力・特色づくりの一環として、ALT（外国語指導助手）の専任化や市高生「夢」実現応援事業、サギノー市との交換留学を実施した。

特別支援教育については、学校教育法改正に伴い、平成19年4月から「特殊教育」から「特別支援教育」への転換が図られ、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導支援が重要となっている。

そのため、学習支援ボランティア等を学校に派遣し、担任の補助等、個々に合わせた支援を行うとともに、教職員に対しては、研修会等を開催し、指導力の向上を図る「特別支援教育推進事業」を実施した。

学校（園）施設の整備・充実については、幼児・児童生徒が安心して学校（園）施設

を利用できるよう、旧耐震基準で建設された校（園）舎などについて、計画的に補強事業（完了済）・改築事業を行い、学校（園）施設の耐震化の推進を図った。

また、各幼稚園、小学校、中学校の校舎及び給食室の改修工事保全整備を実施したほか、幼稚園トイレの洋式化を進めるなど、教育施設の整備充実を図った。

さらに、防犯対策として、門扉やフェンスなど計画的に整備し、安全・安心な学校づくりに努めた。

就学支援体制の充実については、障害のある幼児や児童生徒がよりよい教育を受けられるように適切な就園・就学の相談や調査を行った。

また、低所得世帯の児童生徒の保護者に対しては就学援助を実施し、経済的理由により大学への就学が困難な者に対しては奨学事業を実施し、それぞれ経済的支援を行った。

国際理解・交流活動の推進については、外国青年を外国語指導助手として雇用し、市内の小・中・高校に定期的に派遣している。児童・生徒が、外国語指導助手との交流を通じて、生の英語や外国文化について直接学ぶことで、国際理解を深められる環境づくりに努めた。

小学校英語活動の推進のために、英語活動サポーター派遣事業を実施し、英語が堪能な地域人材や学生ボランティアを希望する小学校へ派遣した。また、英語教育における小中連携を推進するため、英語教育小中学校連絡会を実施し情報交換を行った。

高度情報化社会に対応した人材の育成については、小中学校において、授業におけるICT活用の充実を図るために、教育用コンピュータ整備事業を充実し、市内小中学校の普通教室の一部に電子黒板及びプロジェクタを追加整備した。

3 青少年の健全育成

家庭教育の自立性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供に努め、PTA活動をはじめ、各種生涯学習講座を活用し、子育てに関する学習の機会の充実を図ってきた。

青少年の健全育成を図るため、子どもゼミナール、中・高ボランティア講習会、青少年野外活動事業などを実施するとともに、青少年活動を支援する指導者層の拡充を図ってきた。

市民総ぐるみ青少年健全育成活動、地域における自主的な防犯活動の推進、街頭補導を中心とした育成補導活動及び電話相談を中心とした相談活動を重点に掲げ、複雑多様化する青少年の問題行動の早期発見、未然防止に取り組むとともに、スクールガードリーダーを2名配置し、学校及び通学路における子どもの安全確保を図り、地域ぐるみで子どもの安全を見守る体制づくりに努めた。

加えて、子どもを守る総合安全対策推進事業により、学校PTA、地域団体等の多様な主体によって進められている「生活安全（防犯）」、「災害安全（防災）」及び「交通安全」の取り組みを連携させた地域ぐるみのセーフティネットワークの構築に努めた。

深刻化するいじめ問題について、「いじめ問題等対策チーム」を中心に学校・家庭・地域社会との連携を密にし、いじめの防止・解消に取り組むとともに、適応指導推進施設「すだち学級」を運営し、様々な要因により不登校状態にある児童生徒に対して、学校復帰や社会的自立に向けての活動や教育相談活動を行うことで、不登校問題に対応した。

また、アンケートを用いた実態把握にも努め、不登校・いじめの未然防止に努めた。

4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

市民一人ひとりが、それぞれの興味や関心、目的、体力に応じたスポーツに親しむことができるよう、多様化するスポーツニーズに対応できる社会体育指導者の養成と資質の向上を図るため、指導者養成事業を実施した。

また、各種スポーツ事業の開催や支援を行うことにより、市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を充実させるため、市民スポ・レクフェスティバル等の生涯体育事業や、児童・生徒の体力向上を目指したスポーツ大会の開催、また、阿波吉野川マラソンをはじめとするスポーツ大会の開催補助を実施した。

さらに、市民が、いつでも、どこでも、だれでもスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実を図るため、市立体育館、スポーツセンター並びにB & G海洋センターの耐震改修実施設計業務及び球技場得点表示板改修工事を行い、施設の機能維持に努めた。

5 文化・芸術活動の振興

文化財の保存と活用については、史跡徳島藩主蜂須賀家墓所の修復整備、史跡徳島城跡の保存管理計画と渋野丸山古墳の調査整備計画ならびに重要文化財三河家住宅の保存活用計画の検討を進めた。

また、犬飼の舞台での阿波人形浄瑠璃の公演、地域に伝わる神踊りや獅子舞の保存・継承による伝統芸能の保護・啓発に努めるとともに、文化財指定や指定文化財の管理・保全を図り、地域住民が主体となる文化財保護活動の支援を推進した。

さらに、開発行為に伴い消滅する埋蔵文化財について、記録保存の発掘調査を実施し、遺跡・遺物の保護を図り、埋蔵文化財の保護についての理解を高めた。

博物館活動として、徳島藩及び蜂須賀家に関わる企画展及び特別展を開催し、重要文化財等の展示公開を徳島城博物館で実施した。また、地域の歴史や文化を示す考古資料を扱った考古資料館、人形師天狗久の工房跡である天狗久資料館での展示公開・教育普及などを通じて、地域づくりを担う地域の歴史や文化を理解した人づくりを推進した。

6 その他の事務事業

(1) 子どもの体力・元気アップ推進事業

子どもたちが健康で明るい生活を送るための基礎となる体力・運動能力の向上を図るため、体育授業への講師派遣や体育学習指導資料の作成・配布などを行い、教員の指導力向上による学校体育の充実に努めた。

また、幼児や児童に対して、外遊びの奨励や運動習慣の啓発を図るため、巡回スポーツ教室を開催することや小学校においてチャレンジ運動種目の記録に挑戦する元気アップチャレンジランキングを実施することで、外遊びや運動に取り組む環境づくりの推進を図った。

(2) 食育の推進

食育を推進するため、「徳島市教育委員会食育推進委員会」及び4つの専門研究部会を開催し、幼稚園及び学校並びに社会教育における食育の課題や推進方法等について検討した。

また、幼稚園及び学校においては、校（園）内食育推進体制を整え食育をより機動的に推進するため、各校（園）において中核的な役割を担う「学校食育リーダー」を置き、各校（園）の「食に関する指導の全体計画」及び平成25年度の「食に関する指導の年間指導計画（案）」を作成した。

なお、平成24年度は「学校給食における食物アレルギー除去食」の提供を全校46校（小学校31校・中学校15校）で実施した。

さらに、子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため、校内体験栽培作物の給食への活用や、学校給食メニューコンテストを実施し、子どもの考えたメニューを新献立として導入するなど、学校給食が「生きた教材」として活用されるような取り組みを進めた。

(3) 人権教育・啓発の推進

学校教育においては、一人ひとりを尊重する人権教育の推進を図り、様々な人権問題の解決を目指すとともに、社会教育においても、すべての人の人権が尊重される社会づくりを目指した人権教育・啓発を推進した。

特に学校（園）教育においては、教職員の人権感覚を高めるために、人権教育研修の助成事業を継続実施し、児童生徒には人権啓発ポスターや人権作文により、人権意識の高揚を図った。

また、社会教育においては、各種学級・講座に人権教育を計画的・系統的に位置づけるとともに、人権問題学習講座を開設するなど、人権意識の高揚と人権問題について継続的な学習活動を実施した。

(4) 市高生「夢」実現応援事業

自らの「夢と未来」の実現に向かって頑張る市高生を文武両面から支援することによって、学力と技能（スポーツ・芸術）の向上を図り、将来の徳島を担う人材の育成に努め、市立高校が校舎改築を機にさらに輝き、飛躍・発展し、文武両面において四国一の公立高校となることを目指し、予備校講師等による夏期集中講義の開催やスポーツの専任トレーナーの招聘等、学力向上の推進と部活動の強化を実施した。

(5) 防災教育の推進

発生時における幼児・児童生徒及び教職員の安全確保に向けて、全ての学校（園）において防災管理マニュアルを作成し、適宜、点検をして改善を図った。また、教職員を対象に、防災研修会を実施し各校（園）の実態に応じた防災への取り組みを進めるとともに、防災教育発表会を開催し、先進校（園）の取り組みについて情報交換を行うなど、本市における防災教育の充実に取り組んだ。

第4章 事務事業に係る点検・評価に関する結果一覧

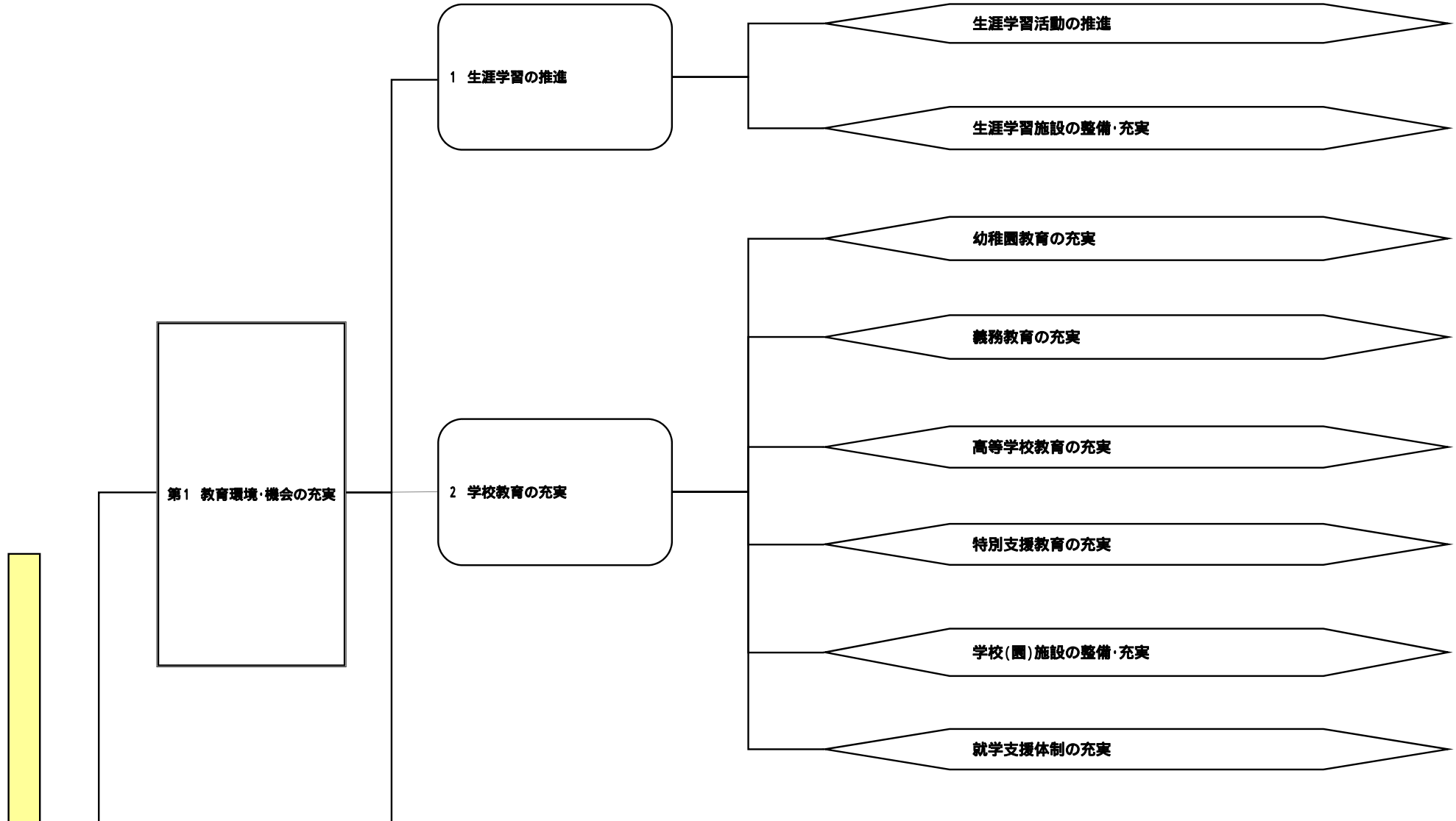
事務事業の体系

[基本目標]

[施策の大綱]

[施策]

[事業群]



第2 スポーツ・文化活動の振興

3 青少年の健全育成

家庭教育の充実

青少年活動の充実

健全育成体制の充実と環境整備

いじめ・不登校問題等への対応

1 スポーツ・レクリエーション活動の振興

市民主体のスポーツ活動の推進

スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実

スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実


2 文化・芸術活動の振興


文化財の保存と活用

3 国際交流の推進




第1 教育環境・機会の充実


1 生涯学習の推進

事業群名	生涯学習活動の推進					第1-1-
目的	市民が生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現を目指す。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 主な生涯学習活動への参加者数(人)	54,787	54,821	55,000	65,000	 84%
成果指標の達成状況	成果指標は向上してきており、各ライフステージに応じた生涯学習は充実してきている。					
成果向上のための今後の方向性	個人の需要に応じた多様な学習機会の充実を図るとともに、社会の要請に対応した学習活動の推進を図る。					

事業群名	生涯学習施設の整備・充実					第1-1-
目的	市民各層が、自立した人間として生きていこうとする学習意欲に応えられるよう、生涯学習の場としての施設等の管理・運営の充実を進める。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 年間利用者数(人)	123,785	134,369	132,961	178,500	 74%
成果指標の達成状況	各種講座の開催などによるサービス向上により、今後は利用者数が増加していくと思われる。					
成果向上のための今後の方向性	急激な時代の変化に即応した生涯学習体系を整備し、市民各層の学習機会の提供を、幅広く積極的に展開する。					

2 学校教育の充実

事業群名	幼稚園教育の充実					第1 - 2 -
目的	充実した幼児教育の提供や預けやすい環境の整備を意図し事業に取り組んでいる。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 徳島市内幼稚園就園率(%)	51	51	50	51	 98%
	2 預かり保育実施園数(園)	26	26	26	26	 100%
	3 預かり保育利用延べ園児数(人)	4,254	3,951	3,932	4,056	 97%
成果指標の達成状況	少子化による園児数の減少もあるが、充実した幼児教育や預けやすい環境整備に努力し目標の達成としたい。					
成果向上のための今後の方向性	幼児期においてその発達の特性に添った幼児教育が受けられるよう制度の拡充、改善を図る。また、教員に対する研修施策等を充実させ、資質や専門性の向上を図っていく。					

事業群名	義務教育の充実					第1 - 2 -
目的	確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、信頼される学校づくりを意図し様々な事業に取り組んでいる。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 学校評価に関する保護者へのアンケート実施率(%)	100	100	100	100	 100%
成果指標の達成状況	平成20年度から文部科学省により学校評価が義務化され教職員や学校関係者、保護者に対して指導方法・内容等の評価に関するアンケートが実施されている。					
成果向上のための今後の方向性	基礎基本の確実な定着をめざし、様々な教育課題に対応しつつ、個性を生かす教育の充実により、学習意欲・学習習慣の向上を図り、確かな学力を培う。 また、指導方法・内容等の充実のため様々な意見を取り入れることが可能な環境の充実に務めていく。					


事業群名	高等学校教育の充実	第1 - 2 -				
目的	<p>特色ある魅力的な市立高校づくりにより、将来性豊かな有能な生徒募集に反映させる。</p> <p>また、恵まれた学習環境により、学校生活を充実させ、新しい時代を拓くすぐれた人材を育成する。</p>					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 市高生の国際理解度(%)	70	70	70	75	93%
	2 男子サッカー部の公式試合での勝率(%)	78	80	77	85	91%
	3 英語検定試験合格率(%)			53	52	102%
	英語コミュニケーションテスト(G-TEC)の2年生学年平均点(点) (平成23年度までの成果指標)	471	522		目標(H23) 530	
成果指標の達成状況	事業は順調に進行中である。					
成果向上のための今後の方向性	様々な魅力・特色づくり事業を推進しながら、事業成果を検証して、文武両道の県下に誇れる市立高校を目指す。					




事業群名	特別支援教育の充実	第1 - 2 -				
目的	<p>徳島市内の幼小中に在籍する特別支援を必要とする幼児児童生徒に一定の資格や専門知識を有する相談員・特別支援教育指導主事、学習・地域ボランティアを学校に派遣し、教育相談や担任の補助等、個々にあった適切な支援をする。また、教職員には研修会を開催し、資質向上を図り指導力を高める。</p>					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 ボランティア派遣回数(回)	1,498	1,258	1,884	1,800	105%
	2 教育相談の実施件数(件)	238	298	235	300	78%
成果指標の達成状況	<p>ボランティア派遣事業の周知を図ることで、ボランティア活動への参加人数を確保し、ボランティア派遣達成率の維持に努める。</p> <p>特別支援教育の充実のため研修会の内容の検討や早期からの教育相談の実施に努める。</p>					
成果向上のための今後の方向性	<p>学習・地域ボランティア、相談員・教職員の特別支援教育に関する専門的知識を高めていくことで、特別な支援を必要とする幼児児童生徒やその保護者にあった教育的支援が可能になると思われる。</p>					

事業群名	学校(園)施設の整備・充実					第1 - 2 -
目的	子どもたちが安全・安心な環境の中で、充実した教育を受けられる学校(園)施設の整備・充実に努めるとともに、施設の有効活用を推進する。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 小学校校舎等耐震診断の実施割合(%)	100	100	100	100	→ 100%
	2 中学校校舎等耐震診断の実施割合(%)	100	100	100	100	→ 100%
	3 幼稚園園舎等耐震診断の実施割合(%)	100	100	100	100	→ 100%
	4 小学校耐震補強済み校舎等の割合(%)	94.7	94.7	95.3	100	↗ 95%
	5 中学校耐震補強済み校舎等の割合(%)	96.5	98.2	98.2	100	→ 98%
	6 幼稚園耐震補強済み園舎等の割合(%)	96.2	100	100	100	→ 100%
成果指標の達成状況	小中学校の耐震化事業については、事業の前倒しにより、目標以上の進捗率となっている。また幼稚園施設についても耐震化事業を積極的に実施した。					
成果向上のための今後の方向性	学校(園)施設の管理・運営に係る諸業務については、法定の業務や義務的な経費は、従前のおりの執行をしていくことになる。 その他の経費については、学習環境の低下を生ずることなく、コストの縮減に努めながら施設環境の保全を図っていく。					

事業群名	就学支援体制の充実					第1 - 2 -
目的	就学等の教育相談の充実のために様々な事業に取り組んでいる。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 相談支援を受けた件数(件)	592	705	867	750	↗ 116%
	2 すだち通級生の学校復帰率(%)	50.0	55.6	60.0	70	↗ 86%
成果指標の達成状況	相談があったり、指導の必要な子どもが見つかったりした時には、出来る限り通学できるよう支援していく。					
成果向上のための今後の方向性	子育てを相談する場が減少し、地域で子育てをするという意識が薄れつつあり、また、いじめや不登校の問題が深刻化している。 これらに対応するために、相談支援体制の充実が今後も重要である。					

3 青少年の健全育成

事業群名	家庭教育の充実					第1 - 3 -
目的	青少年の健全育成を図る。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 各種講座等への参加者数(人)	9,912	9,555	8,082	10,200	 79%
成果指標の達成状況	学校・家庭・地域社会が一体となった子育て支援体制は整備されつつある。					
成果向上のための今後の方向性	学校・家庭・地域が連携を図り、社会総がかりで青少年の健全育成を図る。					

事業群名	青少年活動の充実					第1 - 3 -
目的	青少年の健全育成を図る。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 青少年活動に参加している青少年の数(人)	4,438	5,799	6,440	5,900	 109%
	2 市青少年健全育成協議会兼推進大会の参加人数(人)	378	360	358	400	 90%
	3 地区青少年健全育成協議会事業実施回数(回)	403	425	393	450	 87%
成果指標の達成状況	成果指標は安定しており、活動内容も充実している。					
成果向上のための今後の方向性	学校・家庭・地域が連携を図り、社会総がかりで青少年の健全育成を推進する態勢を整備する。					

事業群名	健全育成体制の充実と環境整備					第1 - 3 -	
目的	<p>青少年の健全育成を図るため、非行や有害環境等の直面する課題に対応するとともに、交通、不審者から安全確保するための施策を進める。 その活動を通じてすべての主体が一体となり、青少年を見守る社会づくりを推進する。</p>						
成果指標の状況	成果指標名		H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1	補導に従事した延べ人数(人)	2,304	2,258	2,296	2,380	96%
	2	少年1,000人あたりの刑法犯少年数(人)	7.0	7.2	5.9	7.0	116%
	3	小中高生におけるフィルタリングソフト活用周知率(%)	59.8	63.4	56.7	70.0	81%
成果指標の達成状況	<p>地域街頭補導の継続が非行防止・犯罪抑止に効果。 有害環境浄化活動において、啓発活動・関係機関との連携強化により、健全育成条例の周知・対応率が向上。</p>						
成果向上のための今後の方向性	<p>環境整備においては、安全・安心につながる、より幅広い活動の展開が重要であり、地域活動の一層の充実が不可欠である。 地域における青少年への関心を高め、これまで以上に学校と地域がつながり、青少年活動等の推進に努める必要がある。</p>						


事業群名	いじめ・不登校問題等への対応					第1 - 3 -	
目的	<p>いじめ・不登校等児童生徒の諸問題に対し、未然防止に必要な学校体制を確立するとともに、早期に適切な相談・支援ができるよう体制の充実、啓発活動の推進を図り、学校・家庭・地域関係諸機関の連携はもとより、すべての大人が一体となった取り組みを行う。</p>						
成果指標の状況	成果指標名		H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1	各事業における相談を受けた延べ件数(件)	3,974	4,288	5,294	4,250	125%
	2	すだち通級生の学校復帰率(%)	50.0	55.6	60.0	70.0	86%
	3	いじめ解消率(%)	92.6	96.0	74.7 (平成24年度上半期)	95.0	79%
成果指標の達成状況	<p>相談支援体制の充実により、様々な問題について着実な相談件数実績。 また、きめ細かな支援を実施し、不登校児童生徒の学校復帰率やいじめ解消率の向上には引き続き努める。</p>						
成果向上のための今後の方向性	<p>いじめ問題及び不登校問題に対し、すべての人が関心をもち、その根絶に向けて取り組めるよう、様々な機会を提供し、啓発活動の充実を図る。 よりきめ細かな相談・支援体制の充実を図り、早期の対応はもとより、専門機関との連携を図る。</p>						

第2 スポーツ・文化活動の振興


1 スポーツ・レクリエーション活動の振興

事業群名	市民主体のスポーツ活動の推進					第2 - 1 -
目的	多様化するスポーツニーズに対して各地域で様々なスポーツ・レクリエーションの普及及び指導者を養成する。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 総合型地域スポーツクラブの設立(団体)	3	3	3	4	→ 75%
	2 スポーツ指導者の養成数(人)	596	600	611	850	↗ 72%
成果指標の達成状況	目標年度にはクラブ数及び指導者数の達成を目指す。					
成果向上のための今後の方向性	市民1人1人が、それぞれの興味や関心、年齢、目的、体力に応じて主体的にスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、組織づくりと指導者養成に取り組む。					

事業群名	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実					第2 - 1 -
目的	市民及び競技愛好者に様々なスポーツ・レクリエーション活動を楽しんでもらうとともに体力づくりのきっかけにできる機会を提供することにより健康的な毎日を過ごす。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 市主催のスポーツイベントへの参加者数(人)	10,444	10,233	13,792	10,000	↗ 138%
成果指標の達成状況	目標は達成できた。					
成果向上のための今後の方向性	目標を達成したので、今後はさらなる参加者数の増加を目指し高い目標をかかげたい。					

事業群名	スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					第2 - 1 -
目的	気軽に利用できるスポーツ・レクリエーション施設がある。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 体育施設利用者数(人)	1,396,727	1,453,134	1,380,078	1,500,000	 92%
成果指標の達成状況	天候及び全国大会規模の開催状況により増減しているが、概ね目標に近づいている。					
成果向上のための今後の方向性	気軽に利用できるスポーツ・レクリエーション施設として、小・中学校の学校開放を推進する。また、市民スポーツの振興には施設整備が必要であることから、今後は、計画的かつ効果的な施設整備を行う。					

2 文化・芸術活動の振興

事業群名	文化財の保存と活用					第2 - 2 -
目的	文化財の保護、保存、活用を図ることにより、歴史や文化を対象とした文化財保護団体の活動の支援、自立を促し、地域づくり、人づくりを推進する。					
成果指標の状況	成果指標名	H22実績	H23実績	H24実績	目標(H26)	達成率
	1 市内所在の指定文化財・登録文化財の件数(件)	145	146	149	150	 99%
成果指標の達成状況	文化財の指定・登録を年度ごとに進めている。 文化財が多種多様化する現在、文化財としての歴史的・文化的価値を重視した上で、指定・登録化に柔軟さを求めることも必要である。					
成果向上のための今後の方向性	地域の人々の主体的な活動による文化財の保護、活用を推進し、文化財が地域づくり、人づくりの役割を果たすことができる方向性を示す。 市民の人々が、個性ある文化財保護活動を展開することにより、地域に対する愛着を深め、自らが生活する地域に誇りを感じることができるまちづくりを推進する。					

第5章 学識経験者の所見

1 生涯学習の推進

指定管理者制度を導入し、利用者への利便性とサービス向上に努め、生涯学習活動への参加者は増加している。また、図書館においては、平成24年4月1日に駅前アミコビルに移転し利便性を向上させるとともに、面積を旧図書館の3倍とするなど施設を充実させたことにより、初年度は58万人以上の来館者があったことは特筆に値する。「主な生涯学習活動への参加者数(人)」の成果指標は向上してきており、各ライフステージに応じた生涯学習は充実してきていると評価できる。なお、各種講座の開催などによるサービス向上により、なお利用者が増えるように努めていただきたい。

2 防災教育の推進

発生時における幼児・児童生徒及び教職員の安全確保に向けて、全ての学校(園)において防災管理マニュアルを作成し、適宜、点検をして改善を図っている。また、教職員を対象に、防災研修会を実施し各校(園)の実態に応じた防災への取り組みを進めるとともに、防災教育発表会を開催し、先進校(園)の取り組みについて情報交換を行うなど、本市における防災教育の充実に取り組んだことは高く評価できる。

3 スポーツレクリエーション活動の振興

市民一人一人が年齢や体力に応じて主体的にスポーツレクリエーションに親しむことができるよう、多様化するスポーツニーズに対応できる社会体育指導者の養成と資質の向上を図るため、指導者養成事業を実施している。また、市民がスポーツレクリエーションに親しむ機会を充実させるため、市民スポ・レクフェスティバル等の生涯体育事業や、児童・生徒の体力向上を目指したスポーツ大会の開催、また、阿波吉野川マラソンをはじめとするスポーツ大会の開催援助を実施している。その結果、「市主催のスポーツイベントへの参加者数(人)」が13,792人(平成24年度実績)と増加したことは注目に値する。

4 文化・芸術活動の振興

史跡徳島藩主蜂須賀家墓所の修復整備、史跡徳島城跡の保存管理計画と洪野丸山古墳の調査整備計画ならびに重要文化財三河家住宅の保存活用計画の検討を進めている。

博物館活動として、徳島藩及び蜂須賀家に関する企画展及び特別展を開催し、重要文化財等の展示公開を徳島城博物館で実施している。また、地域の歴史や文化を示す考古資料を扱った考古資料館、人形師天狗久の工房跡である天狗久資料館での展示公開・教育普及などを通じて、地域づくりを担う地域の歴史や文化を理解した人づくりを推進しようとしたことも非常に重要な施策の一つである。

5 食育の推進

平成24年度は「学校給食における食物アレルギー除去食」の提供を全ての小・中学校で実施している。さらに、子どもの望ましい食習慣の形式や食に関する理解の促進のため、校内体験栽培作物の給食への活用や、学校給食メニューコンテストを実施し、子どもの考えたメニューを新献立として導入するなど、学校給食が「生きた教材」として活用されるような取り組みを進めたことも、具体的な取り組みとして高く評価できる。

平成25年8月2日

徳島文理大学短期大学部 教授 阿部 頼孝

学識経験者の所見

1 平成24年度徳島市教育委員会の活動状況について

昨今の教育課題は山積しており、これらの解消をめざし、徳島市教育委員会は、基本方針及び重点政策に従って、教育行政が推進されており、着実に実績を挙げているものと思われる。これは、平成22年に策定した「徳島市教育振興基本計画」を、教育行政に反映させた結果であり、事業実施において問題もなく、個々の評価も良好である。また、教育委員会（5名）においては、十分な審議（12回の会議）を行い、円滑な教育行政の推進がなされており、特に、学校現場との密接な連携を図るため、学校を訪問する（57回の視察）など、個々の諸課題について行政の立場から、適切な指導・助言を行っているものと思われる。

2 教育委員会が管理・執行する事務の状況について

- (1) 生涯学習の推進は、市民活動において重要であり、利用者の利便性やサービスの向上が、その成否を決める。本市においては、平成24年4月、駅前アミコビルに、図書館（旧図書館の3倍の面積）が移転し、その利便性から、初年度は58万人の来館者を数えるなど、大きな成果を上げている。これを機に、さらなる充実を図りたい。
- (2) 学校教育では、それぞれの校種において、様々な取り組みが行われ、着実に成果を挙げている。特に防災教育の推進では、全ての学校（園）において、防災管理マニュアルを作成し、研修会などを充実させ、今後予測される南海トラフ巨大地震に備えている。また、校舎等の耐震診断や耐震補強についても、事業の前倒しによって、着実に整備が進行しており、早期に100%が達成される見通しになった。
- (3) スポーツ・レクレーション施設の利用者数は着実に増加しており、評価できる。また、スポーツ指導者の養成も順調に進捗しており、引き続き充実を図りたい。また、文化振興においては、重要文化財の保存管理などにきめ細かい検討が行われており、地域住民の意見を主体とした文化財保護がなされているものと思われる。
- (4) 食育の推進において、「学校給食における食物アレルギー除去食」の提供を全校（46校）で実施しており、大いに評価できる。また、食育に関する取り組みも充実している。

3 総括

本市の場合、昨年度の事務点検・評価を、関係各課が汲み取り、施策に反映させている。こうした姿勢が、本市の教育行政を着実に進展させているものと思われる。

平成25年8月2日

鳴門教育大学 教授 阪根 健二